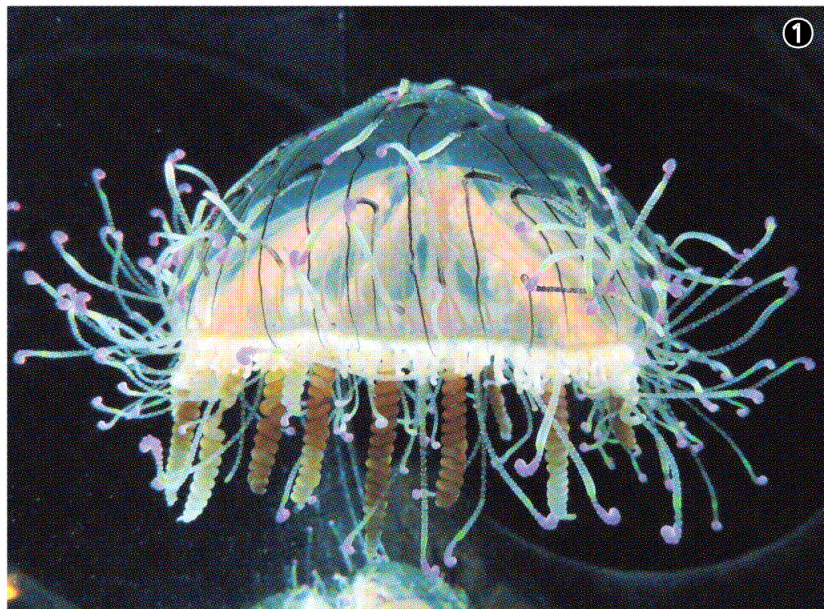
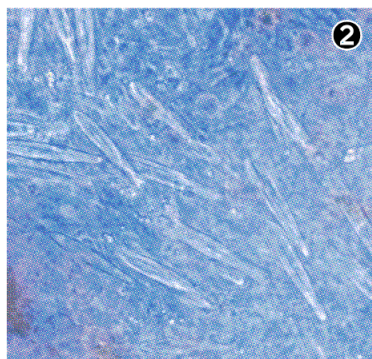


- ①ハナガサクラゲ。美しいですが強い毒を持っています
 ②ハナガサクラゲの刺胞
 ③ムカデミノウミウシ④刺胞動物のヒドロ虫を食べるムカデミノウミウシ



クラゲに刺されて痛い思いをした経験はありますか？ クラゲは「刺胞」という、小さくて目には見えない武器を持っています。刺胞の大きさは10分の1ミリから10分の1ミリぐらい。小さな細胞の中に毒針が仕込まれていて、刺されるととても痛いです。

クラゲが刺激を受けると、たちまち刺胞から毒針が発射され、相手に毒を注入します。襲ってきた敵を撃退する場合もありますし、刺した相手を餌にする場合もあります。刺胞はクラゲの強力な武器なのです。刺胞は使い捨てで、一度発射してしまつと、もう使われることはありません。クラゲは常に新しい刺胞を作り、補充しつづけて



刺胞 毒を使って身を守る

います。クラゲのほかに、サンゴやイソギンチャクも刺胞を持つ刺胞動物の仲間です。

ところで、ムカデミノウミウシという生き物も刺胞を持っています。ウミウシは貝殻のない巻き貝の仲間で、刺胞動物ではありません。ムカデミノウミウシは自身で刺胞を作ることにはできませんが、刺胞動物を餌として食べ、その刺胞を取り込んで体の外側にある「ミノ」部分に並べています。外敵に襲われたとき、これらの刺胞を使って身を守っていると考えられます。他者が持つ毒を利用して、したたかな生き物です。

少し間違つと命に危険が及ぶこともある毒。生き物たちは巧みに毒を使いながら、海の中の厳しい環境を生き抜いています。かごしま水族館では11月4日まで、特別企画展「海の中をサバイバル！ 毒を使って身を守る」を開催しています。ぜひ見に来てください。